

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	72 -	事業名	健康づくり推進事業	担当部課	福祉部健康推進課
------	------	-----	-----------	------	----------

基本情報	総合計画	基本方針	3	人がいきいきとつながるまち	会計	1	一般会計
		分野別項目	13	住民の健康づくりを支える	款	4	衛生費
		施策の進め方	2	健康増進事業の実施	項	1	保健衛生費
	まちづくり 行程表	フラッグ	F2	「あんしん」～助けがなかったら生きていけない人は全力で守る～	目	2	予防費
		政策分類	7	健康づくりの輪を広げ、いっつになっても元気で輝く	大事業	6	健康づくり推進事業
	その他(関係法令、要綱等)	健康増進法					
事業開始の背景、経緯等	健康増進法に基づき平成15年度に策定した「健康づくり計画」を推進するため、平成16年度から事業を開始した。その後、平成25年度に「健康づくり計画(第2次)」を策定し、継続して健康づくり事業に取り組んでいる。						

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 平成25年度に策定した「健康づくり計画(第2次)」に基づき、健康に対する啓発を目的に健康教育、8520・9020運動、健康展、こころの体温計及び禁煙外来治療費助成を実施し、市民の健康づくり事業を推進していく。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民の健康づくりを推進する。					
	事業を構成する事務事業	① 健康づくり計画推進事業	拡充	④			
		②		⑤			
		③		⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	事業費(A)	千円	決算	予算		2,995	2,878	3,162
決算					2,210	3,262	2,773	
人件費(B)	千円	決算		17,439	16,268	15,729		
総コスト(A)+(B)	千円	決算		19,649	19,530	18,502		

成果推移	成果指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	A 事業参加者数	人	目標	—	10,900	11,100	11,300	13,600
			実績	—	16,085	9,330	13,377	
	B		目標					
			実績					
	C		目標					
実績								
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 健康づくりに取り組む市民を増やすため、参加者数増加を指標とする。								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 瀬戸市、尾張旭市、豊明市、日進市、東郷町すべて、健康日本21(第2次)市町村計画を策定し、健康づくり事業を実施。
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 実績が前年度より上がり、目標を達成した。各取組の実績は健康教育2,412人、8520・9020運動27人、健康展1,214人、こころの体温計9,693人、禁煙外来治療費助成申請者数31人。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 事業の普及・啓発を図り健康づくりに取り組む人を増やすと共に、継続した健康づくりへと繋げることが課題である。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 市民自ら健康づくりに取り組めるよう事業を実施する。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 「健康づくり計画(第2次)」の最終年度である平成35年度までに、健康づくり事業に関わった年間延べ人数が目標である市人口の20%を継続して達成する。

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		健康づくり推進事業									
番号	①	事務事業名	健康づくり計画推進事業	款	4	項	1	目	2	大事業	6	中事業	1
事務事業の期間	事務事業開始年度		平成16年度		終了（予定）年度		平成35年度						

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	「健康づくり計画（第2次）」に基づき、市民に対して健康教育、8520・9020運動、健康展、こころの体温計及び禁煙外来治療費助成を実施している。
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	健康に関する様々な知識を知ってもらい、生活習慣病の予防等、自ら健康づくりを推進する。

2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算		2,995	2,878	3,162	3,468
		決算		2,210	3,262	2,773	
<事業費の主な内訳（当該事業年度）>							
① 印刷製本費						807	千円
② 消耗品費						563	千円
③ 健康づくり推進事業委託						287	千円

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
参加者数	人	目標	—	10,900	11,100	11,300	13,600
		実績	—	16,085	9,330	13,377	
		目標					
		実績					
<備考：活動の概要（当該事業年度）>【参加者数】							
健康教育2,412人、8520・9020運動27人、健康展1,214人、こころの体温計9,693人、禁煙外来治療費助成申請者数31人。							

4. 事務事業を取り巻く環境変化

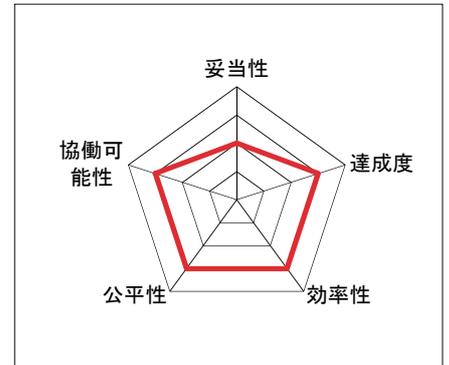
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
継続して「健康づくり計画（第2次）」に基づき、市民の健康づくりを推進する。

5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>
市民自ら健康づくりに取り組むきっかけづくりとして、「ラジオ体操第一」の普及に取り組む。こころの体温計については、市広報、各種事業を通じて普及・啓発に取り組む、利用者の増加を図る。
(何をどのような状態に改善したのか)
ラジオ体操講座や、5人以上集まってラジオ体操第一を実施する登録グループを募集する事業に取り組む、市民自ら健康づくりに取り組むきっかけづくりを図った。こころの体温計は、各種事業を通じて普及・啓発に取り組む、利用者が増加した。

6. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	3



【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
参加者数が前年度と比較し、健康教育、健康展、こころの体温計については増加し、事業全体では4,047人参加者数が増加した。

【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)
事業の普及・啓発に努め、参加者の増加を図ることが必要である。

7. 今後の方向性

拡充

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
今後も「ラジオ体操第一」の普及に取り組み、継続した健康づくりに繋げる。全体的に事業の普及・啓発に取り組む、参加者の増加を図る。